

保護犬から始める アニマルウェルビーイング岡山の実現



IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト

経済経営学部 現代経営学科4年 扇野ゼミ所属 柴田 咲

きっかけ

この活動の原点には、私が小学生のときに出会った一匹の保護犬の存在があります。

その子の名前は「たらちゃん」です。

もともとはペットショップで犬を探していたのですが、たまたま目にした譲渡会のチラシに惹かれて足を運んだことがきっかけで、たらちゃんと出会い、家族として迎えることになりました。

それまで私は「犬は買うもの」だと思っていたのですが、
「**命を譲り受ける**」という選択肢を知った瞬間でもありました。

たらちゃんと暮らすなかで、「この子はどんな過去を過ごしてきたんだろう」と思うことが何度もありました。

だからこそ私は、今度は自分が“つなぐ側”として、保護された犬や猫たちが安心して暮らせる社会をつくりたいと思うようになりました。





30頭以上いる空間なのに静まり返ったシェルター



人が近づいてもおびえて動かない保護犬たちに衝撃



パーパス

動物愛護でつくる人と動物が共生する岡山

ビジョン

岡山市を人と動物が共生する
アニマルウェルビーイングのモデル都市にする

ミッション

保護犬・保護猫0

- 1.動物愛護を子どもから大人まで学べる教育環境の整備
- 2.行政・企業・学校・市民団体との連携
- 3.動物愛護を福祉・観光・まちづくりと融合

2026年4月23日（木曜日） 15時～岡山市役所へ

昨年からの取組を先輩から後輩へ引き継ぐ。
譲渡が進んでいる状況ではあるがまだまだ認知度を上げる必要あり。



① 保護犬シェルターの臭気改善

岡山市の保護犬シェルターにおいて、コーヒークスを活用した消臭実験を実施します。設置前後で臭気計による測定を行い、消臭効果を検証します。保護犬が快適に過ごせる環境づくりを目指すとともに、廃棄物の有効活用によるSDGsの推進や、地域企業との連携による持続可能な仕組みづくりにも挑戦します。

② アロマによるQOL向上

保護犬のストレス軽減と心身の安定を目的に、「癒し+消臭」をテーマとしたアロマ製品を開発します。獣医師や専門家の助言を受けながら、シェルター内での活用を検討し、犬の行動変化や環境改善効果を検証します。アニマルウェルビーイングの視点から、保護犬のQOL向上と譲渡促進を目指します。

③ 企業向け譲渡モデル

企業が保護犬・保護猫の譲渡活動に参加できる仕組みを検討します。社員向けの里親制度やオフィス犬の導入、保護活動への協賛などを通じて、企業の社会貢献活動と動物福祉を結びつけます。企業と保護施設をつなぐ新たな地域連携モデルを構築し、譲渡機会の拡大を目指します。

④ 小学生向け冊子の制作

小学生を対象に、保護犬・保護猫の現状や命を迎える責任について学べる冊子を制作します。実際に保護犬を育てている学生の体験談や、岡山市の現状を分かりやすく掲載し、道徳教育や総合学習で活用できる内容を目指します。次世代へ命を大切にする文化を伝える啓発活動を行います。

① 保護犬シェルターの臭気改善

岡山ビューホテルのレストラン「五感」で提供いただいたコーヒーかすを活用し、臭気計で計測



② アロマによるQOL向上

幸せホルモンと呼ばれる

「セロトニン」や「オキシトシン」の分泌を促し、
心身をリラックスさせる効果のあるラベンダーを使って保護犬の状態を観察



③ 企業向け譲渡モデル

11月3日第3回保護犬譲渡イベントに
参加予定

※チラシは昨年開催のもの



個人向けだけではなく
自社ビル・自社工場の企業向け譲渡を推進し、
ワンちゃんも癒し担当で社員の一員にする。



④ 小学生向け冊子を制作中

